

旅行各社が日銀のマイナス金利政策を意識した旅行商品の拡充に動いている。を呼び込む。

阪急交通社は16日、旅行積み立てサービスはみ立てサービスの新商品 お金を積み立てるとボーナ

旅行積み立て 上乗せ拡大

「たびだち」を20日に発売すると発表した。最大で6ヶ月後に年利換算で2.5%を上乗せした額を旅行商品に使える。最も上乗せ額を増やす商品は一括でお金を預けるタイプで期間は6ヶ月

阪急交通社、年利換算2.5%に マイナス金利政策 意識

月。例えば98万7655円を6カ月間預け入れた場合、期間満了後に1万2345円多い100万円分の旅行券となる。

旅行積み立てはマイナス金利導入後、人気が高まっており、他社も需要取り込みを急いでいる。エイチ・アイ・エス（HIS）は4月20日～5月21日の期間限定で上乗せ額を引き上げたキャンペーンを実施した。